

I. 広東省

1. 人事異動

●林応武・広東省人力資源-社会保障庁長が江門市党書記に就任（6月21日付『南方日報』）。

2. 中国-中南米青年実業家円卓会議の開催

●19日、珠海市で上記会議が開催され、中国、中南米諸国、カリブ地域から200人余りの青年リーダー、実業家、政府代表等が一堂に会した。鄭人豪・珠海市長も出席。広東自貿区（横琴エリア）に中国—中南米経済・貿易協力パークの建設を計画しており、製品の国際交易・越境電子商取引の協力・金融協力の各プラットフォーム、レジャー観光と文化交流・企業法律サービス・政策研究とイノベーションの各拠点を重点的に構築していく（6月20日付『南方日報』）。

●21日、藍仏安・副省長が広州市で中南米の青年リーダー一行と会談し、将来的に経済、スポーツ、観光等の分野で交流・協力を強化していきたいと表明（6月22日付『南方日報』）。

3. 広東省党建設95周年記念演劇イベントの開催

●21日晚、中山紀念堂で上記イベントが開催され、胡春華・省党書記、王教成・南部戦区司令官、魏亮・政治委員、朱小丹・省長、及び黄華華、朱森林、高祀仁、盧鐘鶴など元省指導者が出席（6月22日付『南方日報』）。

4. 2016年広東省-マカオ協力連絡会議の開催

●20日～21日にかけて、マカオで上記会議が開催され、朱小丹・省長、崔世安・マカオ特別行政区長官が共同で主宰し挨拶。広東省-マカオの「十三・五計画」における協力の深化を全面的に推進していくことで合意。「広東省-マカオ協力枠組み協定」に調印してから5年で、双方の投資は軌道に乗り、2015年広東省のマカオに対する契約ベースの投資額は651%増だった。何忠友・副省長も出席（6月22日付『南方日報』）。

5. 省東西北部産業パークに関する現場会議の開催

●22日、省東西北部の産業パークの質を向上させ、相乗効果を上げるため、清遠市で現場会議が開催され、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が出席。胡書記は、信念を固め、これまでどおり業務を行い、「3つの突破口」とペアリング支援を深く推進し、珠江デルタ地域が省東西北部の産業と共同で構築していくよう推進し、省東西北部地区の振興発展を急ぐよう強調（6月23日付『南方日報』）。

6. 胡春華・省党書記がシュワブ世界経済フォーラム会長と会談

●23日午前、上記会談で胡春華・省党書記は、広東省にさらに注目し、同省をサポートし、改革・発展を後押ししてもらいたいと伝えた。任学鋒・広州市党書記等も同席（6月24日付『南方日報』）。

7. 胡春華・省党書記等が李斌・国家衛生-計画出産委員会主任一行と会談

●23日午後、胡春華・省党書記、朱小丹・省長が上記会談に出席し、総合医療改革面における広東省への指導とサポートを要望（6月24日付『南方日報』）。

8. 朱小丹・省長がシブラジ・MP州首相一行と会談

●23日午前、朱小丹・省長はインド・マディヤープラデシュ州のシブラジ・シン・チョウハン州首相一行と座談会を開催し、地方同士の実務的な協力を深め、推進していくための意見交換を行なった（6月24日付『南方日報』）。

9. 省党常務委員会議の開催

●24日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、「省党宣伝部、省司法庁による法治宣伝教育の展開に関する第7次5か年計画（2016～2020年）」について審議し採択（6月25日付『南方日報』）。

10. 第29回省党常務委員集中学習討論会の開催

●24日午後、胡春華・省党書記主宰の上記討論会が開催され、項俊作・中国保険監督管理委員会主席がガイダンス。胡書記は、現代的な保険サービス業の発展を更に最優先させるよう強調（6月25日付『南方日報』）。

11. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長が周済・中国工程院院長と会談

●24日午後、周院長率いる院士、専門家チームが広東省を訪れ、「中国製造2025」の区域モデル地区に申請中の「珠江西岸先進設備製造産業ベルト」を視察し評価を行なった。上記会談で胡書記は、中国工程院、工業・情報化部による継続的なサポートと指導を要望（6月25日付『南方日報』）。

12. 朱小丹・省長が国際金融交易博覧会を視察

●24日午後、朱小丹・省長が第5回中国（広州）国際金融交易博覧会（金交会）を視察し、金交会にその役割を発揮させ、金融に強い省の建設を推進していくよう指示。任学鋒・広州市党書記、藍仏安・副省長、温国輝・広州市長も同行（6月25日付『南方日報』）。

13. 反腐敗にかかる処分

●24日、南粵清風網が周章新・梅州市宣伝部長を重大な紀律違反の疑いで調査していると伝えた（6月25日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 第7回羊城国際粵劇祭が閉幕

●19日、任学鋒・市党書記、陳建華・市人代常務委員会主任が上記閉幕式に出席し、季国平・中国演出家協会党組織書記、黎子流・元広州市長等の来賓と座談会を開催（6月20日付『広州日報』）。

2. 広州港・南沙港第3期工事が今月末にも終了

●国際海運拠点である広州港・南沙港の建設は、広州市の「二大重要ハブ建設」の1つである。今月末にも第3期工事が終了し、本年末には竣工し引き渡し検査を終える見込み。完成すれば、同港は世界最大、最先端の深水コンテナ専用港の1つとなる（6月20日付『広州日報』）。

3. 市政府常務会議の開催

●温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、国务院食品安全委員会第3回会議、省食品安全委員会第3回会議、2016年全省食品安全業務に関するテレビ電話会議、全省都市会議の精神を伝達。「広州市・小中学校基礎教育施設3か年レベルアップ計画（2016～2018年）の基本建設にかかる財政的奨励・補助のための弁法」について審議し採択（6月21日付『広州日報』）。

4. 指導幹部のための「安全生産法」に関する講義の開催

●21日、上記講義が開催され、黄毅・国务院参事室特約研究員が「レッド・ライン（安全基準）に対する意識の強化、安全な発展の促進」と題して講演。任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代常務委員会主任が出席（6月22日付『広州日報』）。

5. 任学鋒・市党書記が党校で授業

●22日、党建設95周年を迎え、全市で「両学一做」学習教育を深く展開するにあたり、任学鋒・市党書記が市党校を訪れ、“指導幹部は率先して「両学一做」の手本となる必要がある”と題して、在校生及び教員に授業を行なった。続けて党校の教學環境を視察し、党校幹部、教師とそれぞれ座談会を開催し、党校の業務水準の向上について検討（6月23日付『広州日報』）。

6. 任学鋒・市党書記が賀国瑞・米UTCグローバル総裁一行と会談

●22日、上記会談で任学鋒・市党書記は、UTC社に対し、広州市で航空設備、スマート・ビル向け設備、環境にやさしい建物、省エネ建築等、先進製造業を配置・発展させてもらいたいと伝えた（6月23日付『広州日報』）。

※UTC（ユナイテッド・テクノロジーズ）：1929年創設、本社はコネチカット州。航空機のエンジン、宇宙産業、ヘリコプター、空調装置、燃料電池、セキュリティ・サービス等の分野でR&D及び製造を行なっているコングロマリット。

7. 温国輝・市長が清遠市を視察

●22日、温国輝・市長が清遠市を訪れ、広州市とのペアリング支援、貧困救済状況を視察。信念を固め、責任感を強め、ペアリング支援と貧困救済の新たな局面を切り開いていくよう指示。葛長偉・清遠市党書記、郭鋒・清遠市長も同行（6月23日付『広州日報』）。

8. 市党常務委員会議の開催

●23日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、政府機能の簡素化・権限移譲によって放すところと管理するところを結びつけ、行政サービスを最適化する改革を推進するための全国・全省テレビ電話会議の精神を伝達。全市の「放す・管理する・サービスする」面での改革の進捗状況について聴取。次の業務を検討し手配（6月24日付『広州日報』）。

9. 貿易の安定成長に関する2016年業務会議の開催

●23日午前、上記会議が開催され、温国輝・市長が出席。蔡朝林・副市長が各区の貿易状況についてコメントしつつ、業務に対する要求を示した（6月24日付『広州日報』）。

10. 任学鋒・市党書記、温国輝・市長が項俊作・中国保険監督管理委員会主席一行と会談

●24日、上記会談で任書記は、医療、安全生産等の分野で保険を導入するため、広州に更なるサポートと指導をしてもらいたいと伝えた（6月25日付『広州日報』）。

11. 広州市政府と広東電信、広東移動、広東聯通がそれぞれ戦略的協力枠組み協定に署名

●24日午後、唐航浩・市政府秘書長主宰の上記署名式が行われ、温国輝・市長が出席、蔡朝林・副市長がそれぞれと枠組み協定に署名。温市長は「インターネット・プラス」の重要戦略を共同で推進していくことにより、広州市がスマートシティ、ハブ型インターナショナル・サイバーポートとなり、国にとっての重要な中心都市としての地位を固め向上させていく上で、重要な役割を発揮するだろうと挨拶（6月25日付『広州日報』）。

12. 温国輝・市長が増城区を視察

●21日午後、党建設95周年を迎え、温国輝・市長は増城区を訪れ、区から鎮へ派遣された職員の連絡業務を視察するとともに、困窮している党员を慰問。末端党組織の建設を強化し、人々に対するサービス力を向上させるよう指示（6月26日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 前海管理局と招商局集団が合資会社を設立

● 18日午前、前海管理局と招商局集団が前海・蛇口自貿区を開発・建設するための合資会社設立の枠組み協定に署名し、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、李建紅・招商局集団董事長、李曉鵬・總經理が署名式に出席。双方は「小さな政府+大きな企業」という管理の企業化・運営の市場化モデルとして積極的に探索していく（6月20日付『深圳特区報』）。

2. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が光明新区等を視察

● 20日午前、潜在的な危険性の除去を重点的に視察し、都市の安全な発展の基礎をしっかりと築き、市民の生命・財産・安全を確保するよう強調（6月21日付『深圳特区報』）。

3. 市政府常務會議の開催

● 20日午後、許勤・市長主宰の上記會議で、公立病院による薬品の集団調達改革試行案について審議し採択。市民の薬代にかかる負担を軽減（6月21日付『深圳特区報』）。

4. 馬興瑞・市党書記が在中国スイス大使一行と会談

● 20日午後、上記會談で馬興瑞・市党書記は、深圳は両国元首が合意した重要なコンセンサスをしっかりと実行し、「一帯一路」共同建設のチャンスをつかみ、スイスとの交流を深めながら、時計、医薬品、先進製造業、科学教育、観光・文化等の分野で実務的な協力をさらに深めていきたいと述べた（6月21日付『深圳特区報』）。

5. 全市貧困救済・開発會議の開催

● 21日午前、上記會議で中央・省の貧困救済・開発會議の精神を伝達。ここ3年の深圳市での業務について総括。馬興瑞・市党書記、許勤・市長が出席（6月22日付『深圳特区報』）。

6. 馬興瑞・市党書記が王寿君・中国核工業建設集团公司董事長一行と会談

● 21日午後、上記會談で馬興瑞・市党書記は、中央の国有企業には資源、技術、管理等の優位性を発揮し、深圳市-汕尾市協力エリアの建設、重要な原発プロジェクトの実施を急いで推進し、広東省の区域協調発展を力強く支えてもらいたいと伝えた（6月22日付『深圳特区報』）。

7. テンセント社が86億米ドルでスーパーセルを買収

● 21日午後、テンセント社はスマホ向けゲーム世界大手のスーパーセルの株84.3%を86億米ドルで取得したと発表（6月22日付『南方日報』）。

※スーパーセル：拠点はフィンランド。2013年、ソフトバンクが買収したスマホ用ゲーム開発大手。

8. 馬興瑞・市党書記がシュワブ世界経済フォーラム会長一行と会談

● 22日午前、上記會談でシュワブ会長は、深圳市の改革開放が大きな成果を収めたことを賞賛し、より多くの優秀な深圳企業が世界経済フォーラムに出席し、それを1つのプラットフォームとすることで、国際市場をさらに開拓し、世界経済システムの中に溶け込んでももらいたいと伝えた（6月23日付『深圳特区報』）。

9. 食品安全問題に関する座談会の開催

● 23日午前、馬興瑞・市党書記主宰の上記座談会が開催され、市人代代表を招き、食品安全問題について検討し、意見や提案を聴取。馬書記は、食品の安全性は市民生活、社会の調和的安定と関わっており、深圳市は習近平・総書記の「4つの厳格な対応」の要求を断固として貫徹・実行し、「舌先の安全」を適切に保障していくと強調（6月24日付『深圳特区報』）。

10. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が南坪高速道路第3期工事現場を視察

●23日午後、上記視察で馬興瑞・市党書記は、交通手段によって先導することを堅持し、プロジェクトの進行を急ぎ、より一層力を入れて「東進戦略」を推進していくよう強調（6月24日付『深圳特区報』）。

11. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長がそれぞれ困窮している党员、年配の党员を慰問

●党建設95周年を迎え、省の業務スケジュールに従い、23日午後、馬書記と許市長がそれぞれ坪山新区、龍崗区を訪れ、生活に困窮している党员や年配の党员を慰問（6月25日付『深圳特区報』）。

12. 第12回カシュガル-中央アジア・南アジア交易会が開幕

●25日、新疆ウイグル自治区カシュガル市で上記交易会が開幕し、ペアリング支援を実施している深圳市からは300人余りの代表団が参加し、44社が出展（6月25日付『深圳特区報』）。